

参加者からいただいたご意見・ご要望をご紹介します。

多くの皆様にご参加いただくとともに、貴重なご意見等をたくさんいただきました。いただいたご意見等は、今後の議会・議員活動に活かしてまいります。

#### ◆防災について

- ①Jアラートによる避難行動に対する不安（外国の武力攻撃・核攻撃に対する訓練）
- ②自警団も高齢化し、災害時の活動に不安を感じている。日々営業している病院が避難場所に指定されているが、現実を受け入れが可能か？
- ③3.11 から熊本地震・九州豪雨災害時の避難所の運営方法が改善されてきたが、もっと女性リーダーの育成が必要と考える。
- ④公助・共助はもちろん必要だが、最も重要なのは自助ではないか。（日頃から自分の身は自分で守る意識を持ち、準備をしておくこと）
- ⑤災害の種類によって避難経路や行動が違うことから、総合防災訓練等を行政が積極的に進めてほしい。
- ⑥まずは自分の命を守る行動が必要。実際に避難所まで移動し確認しておくことが重要。
- ⑦水害時には、企業等の高層ビルを避難場所として利用させてもらえるよう、行政としても後押ししてほしい。
- ⑧災害はいつ起きるかわからないので、指定避難場所の学校や地区公民館は鍵の管理等を明確にしておく必要がある。
- ⑨各地域で訓練に対する温度差がある。
- ⑩防災に対する意識が若者は低い。
- ⑪狭い道が多く避難所に渋滞する恐れがある。
- ⑬災害はいつどこで起きるかわからないので常に危機意識を持つことが重要。
- ⑭防災訓練にほとんどの議員の顔が見られないように思う。積極的に参加してほしい。
- ⑮傾いている空き家があり、地震等あれば避難時の道をふさぐ可能性がある（不明空き家）
- ⑯豪雨により河川の流れが変り生活に影響があるため、早急の対策をお願いする
- ⑰浸水危険情報を早く住民に知らせることが出来ないか（吉成地区）
- ⑱ある市議会議員さんから警報情報が送られて安心した。その他どのような対応をされるのか。
- ⑲河川（大路川・千代川）の決壊の可能性について調査してほしい。
- ⑳支え愛マップづくりの取り組みが拡充すると良い。
- ㉑河川の水位観測を1時間単位でなく、より細かく把握できるよう要望する。
- ㉒大雨・土石流災害の対応を含めた防災研修をしてはどうか。
- ㉓平成29年の大雪災害を踏まえ、除雪作業等対策をしっかりと行っていただきたい。
- ㉔防災行政無線が聞こえない。
- ㉕フェイスブックなどのSNS活用でより早い情報伝達を。
- ㉖各家庭での防災対策が必要。

- ⑳宿泊型避難訓練の取り組みを広げてほしい。
- ㉑千代川流域の保水率が10年前・20年前と違うと思うが、堤防の高さ・危険水位を決定する為の根拠となるデータを示して欲しい。
- ㉒河原地区の被害から、堤防の安全性・浸水までのゆとりはどれ位あるのか？
- ㉓自然災害時の農業用水路の復旧については補助対象外と聞いたが理由をお聞かせ願いたい。

各グループで発表していただいた内容や、それに関連するご意見についてはその回答を後日ホームページに公開します。